

スギ大径材から強度が高く乾燥割れが少ない柱材を生産する方法を開発

背景

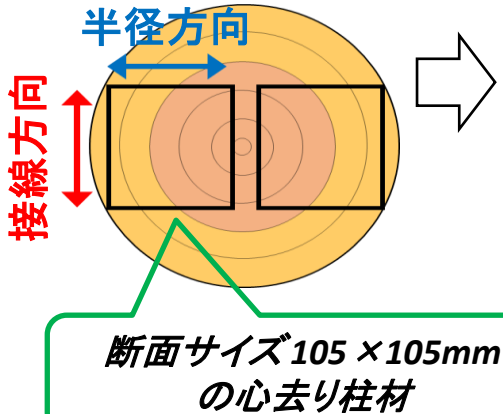
価格低迷などの理由で主伐が進まずに大径化（直径が30cm以上のもの）したスギ材は、心持ち柱材のみを生産すると歩留り低下の問題が生じるので、需要が少なく安価で取引されています。このため、大径材の需要を増やすための活用方法の開発が課題でした。

成果の内容

大径材を建築材として有効活用するため、**心持ち柱材と同等以上の強度**をもち、**割れが少ない**心去り柱材の生産方法を明らかにしました。

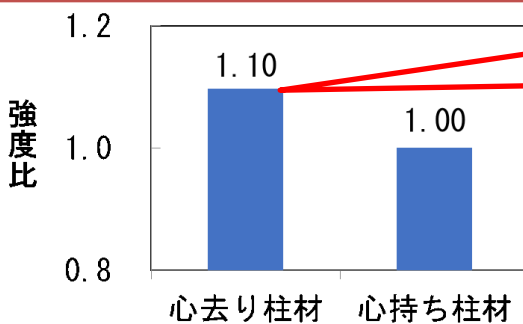
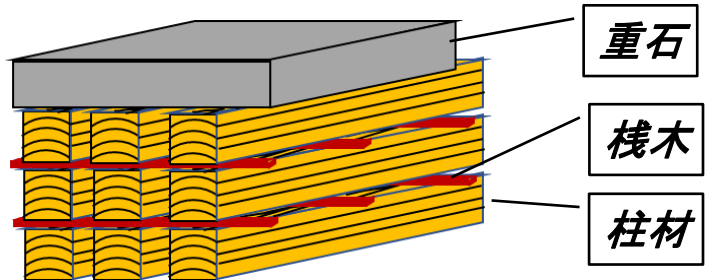
※丸太の中心が入っていない柱材が心去り柱材、入っている材が心持ち柱材

製材方法



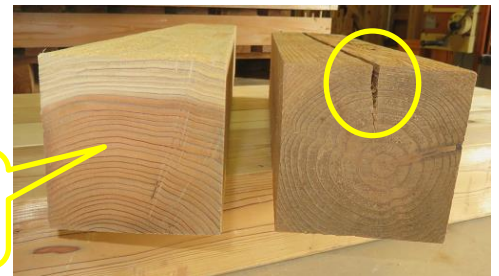
乾燥方法

屋内での天然乾燥を約2か月間、温度80℃の中温での人工乾燥を約1週間実施



心去り柱材は強度が高い

割れが少ない



心去り柱材 心持ち柱材

※原料丸太の強度を1としたとき

【研究者のコメント】

○この技術で、今後増えていくスギ大径材を有効に活用できたら、市場価値が上がり、林業が活性化します。
(森林林業部 森林資源活用于ーム)

